

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議

事業報告書



林間学校「竹あかりをつくろう」(R1.8.4)

令和元年度

目 次

1	あいさつ	・・・1
2	全体事業報告	
(1)	平成31年度かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議総会	・・・ 2
(2)	わいわいカーニバル2019KASUGAI	・・・ 2
(3)	藤前干潟清掃活動と干潟の観察会	・・・ 2
(4)	庄内川アダプトと水生生物調査(高蔵寺グラウンド)	・・・ 3
(5)	消費生活展2019	・・・ 3
(6)	ホテルの観察会	・・・ 3
(7)	庄内川アダプト (熊野グラウンド)	・・・ 4
(8)	中部大学「サマーフェスティバル」	・・・ 4
(9)	林間学校「竹あかりをつくろう」	・・・ 4
(10)	エコライフセミナー	・・・ 5
(11)	市民環境フォーラム	・・・ 5
(12)	答志島奈佐の浜海岸清掃	・・・ 5
(13)	春日井まつり「エコワールド」	・・・ 6
(14)	中部大学「お～い、温活」	・・・ 6
(15)	東邦ガス共催「親子で楽しくエコ・クッキング」	・・・ 6
(16)	冬のエコツアー「鳳来寺山の自然を感じよう！」	・・・ 7
3	学習広報活動等報告	
(1)	学習研究グループ・広報グループ	・・・ 7
(2)	市環境基本計画「環境まちづくり参加人数」との関係	・・・ 7
(3)	会員数の推移	・・・ 7
4	市民団体活動報告	
(1)	かすがい里山自然楽校	・・・ 8
(2)	春日井里山保存会	・・・ 8
(3)	かすがいシェアリングネイチャーの会	・・・ 8
(4)	春日井自然友の会	・・・ 8
(5)	かすがい東部丘陵自然観察会	・・・ 9
(6)	環境学習ネットワークグループ	・・・ 9
(7)	高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会	・・・ 9
(8)	たかくらこどもエコクラブ	・・・ 9
(9)	中部大学発光生物学研究室	・・・ 9
(10)	特定非営利活動法人かすがいネイチャー	・・・ 10
(11)	特定非営利活動法人ザ・希望	・・・ 10
(12)	名古屋工業大学ソーラーカー部	・・・ 10
(13)	みろく山麓の自然を守る会	・・・ 10
(14)	春日井スカウト団協議会	・・・ 10
(15)	春日井SDGs推進ネットワーク (旧 中部ESD拠点推進協議会)	・・・ 10
5	事業者団体紹介	
(1)	大和エネルギー株式会社	・・・ 11
(2)	パナソニックエコシステムズ株式会社	・・・ 11
(3)	王子製紙株式会社 春日井工場	・・・ 11
(4)	日本ガイシ株式会社 小牧事業所	・・・ 11
(5)	東邦ガス株式会社 春日井営業所	・・・ 11
(6)	木野瀬印刷株式会社	・・・ 11
(7)	株式会社TDS	・・・ 11
6	その他	
(1)	東春信用金庫からの寄付金贈呈式	・・・ 11

1 あいさつ

かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議は、市民、事業者、市の三者協働により環境まちづくりを推進する組織として平成14年12月に設立しました。

設立後、全体事業や会議の運営については毎月開催する運営会議において協議を重ね、市が主催する環境に関するイベントへ参加・共催するとともに、当会議としての自主イベントを開催し、設立17周年を迎えました。

当会議では、次の4つの活動方針のもと、令和元年度の取組みを進めてまいりました。

- ① **会員の拡充**・・・令和元年度の新規市民団体会員として、高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会様、名古屋工業大学ソーラーカー部様、春日井自然友の会様が入会されました。今後も、引き続き、活動の充実、活性化に向け、様々な機会を捉えて入会を働きかけ、会員の拡充を図ります。
- ② **事業者との連携**・・・大和エネルギー(株)様、パナソニック エコシステムズ(株)様、王子製紙(株)春日井工場様、日本ガイシ(株)小牧事業所様、東邦ガス(株)春日井営業所様、木野瀬印刷(株)様に加え、新たに株式会社TDS様にご入会いただきました。今後も事業者の皆様と積極的に連携し、各種事業を展開してまいります。
- ③ **若い世代への働きかけ**・・・環境学習・環境活動を積極的に行う子どもとその保護者をエコファミリーとして認定しており、令和元年度末において68組247名の皆様に、家族ぐるみで環境活動に参加いただいております。また、中部大学の学生さんとの連携を深め、協働して取組みを進めています。今後も若い世代と連携し、各種事業を展開してまいります。
- ④ **環境教育の充実**・・・令和元年度は新規事業として、潮見坂平和公園において竹あかりの作製及び自然観察を行いました。今後も次世代を担う子ども向けに環境教育を行い、環境まちづくりの人材育成を図ってまいります。

本報告書は、令和元年度の活動概要を取りまとめたものです。

ご高覧いただき、多くの市民、市民団体、事業者の皆様からの当会議へのご参加、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

PS会議のホームページを是非ご覧ください!!



ホームページには、イベントの募集案内や、活動報告など最新情報を掲載しています。

春日井市のホームページにアクセスして、**パートナーシップ会議**で検索してご覧ください。

2 全体事業報告

(1) 平成 31 年度 かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議総会

とき：平成 31 年 4 月 13 日（土）

場所：総合福祉センター 小ホール

参加者：50 名（H30 42 名、H29 50 名）

内容：平成 30 年度事業報告及び収支決算報告、平成 31 年度活動方針、事業計画及び予算の全議案が承認されました。続いて第 2 部として環境ボランティアサークル 亀の子隊代表の鈴木吉春氏による「西の浜の清掃活動と海のごみについて」と題した講演をいただき、様々な地域から西の浜にごみが集積している現状を知りました。



(2) わいわいカーニバル 2019KASUGAI

とき：令和元年 5 月 12 日（日）

場所：落合公園

参加者：600 名（H30 100 名、H29 800 名）

内容：5 月 10 日～16 日の「愛鳥週間」にあわせ、ニワトリ、カワセミ、フクロウの形をした間伐材で作ったプレートに色を塗ってアクセサリにする工作を行いました。子どもたちは思い思いに色を塗り、世界に一つしかない作品を作り上げました。



(3) 藤前干潟清掃活動と干潟の観察会

とき：令和元年 5 月 18 日（土）

場所：藤前干潟及び新川・庄内川河口付近

参加者：17 名（H30 29 名）

内容：第 30 回を迎えた藤前干潟クリーン大作戦に昨年に引き続き参加し、清掃活動を行いました。藤前干潟周辺の堤防で、葦や堤防に流れ着いたペットボトルや空き缶などを手作業で取り除きました。その後、普段は立ち入ることができない藤前干潟に入り、貝やカニ、ハゼなど干潟に生息する多様な生物を観察しました。

藤前干潟にたどり着く庄内川上流域に住む私たちの行動が海の環境保全につながることを実感しました。



(4) 庄内川アダプトと水生生物調査

とき：令和元年6月2日（日）

場所：庄内川右岸河川敷（高蔵寺グラウンド）

参加者：50名（H30 56名）

内容：庄内川河川敷の清掃活動は15分ほどの活動でしたが、空き缶やプラスチックの袋など多くのごみが集まりました。その後の水生生物調査では、カワゲラ類やトビゲラ類など多様な生物が生息していることを確認しました。トンボに羽化しようとしているヤゴが見つかり、子どもたちから歓声が上がりました。生物の集計から、水質は「ややきれいな水」という結果になりました。多くの生物が生息できるように、ごみ拾いやごみを捨てないことが大切であるということ子どもたちは学んでいました。

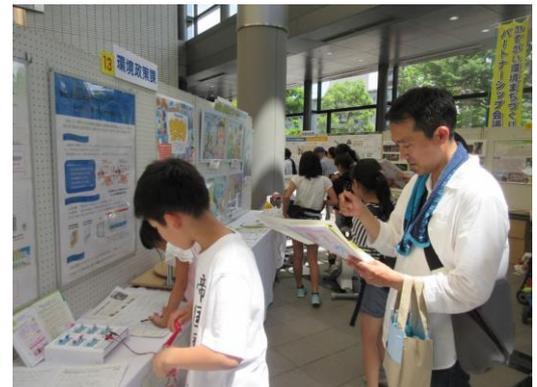


(5) 消費生活展 2019

とき：令和元年6月7日（金）～8日（土）

場所：市役所1階 市民ホール

内容：生活に役立つ情報や環境意識向上に向けた発表・展示があり、全30団体が参加しました。PS会議は、市民団体会員の活動についてのパネル展示やPS通信などで日頃の活動を紹介しました。たくさんの方に訪れていただき、PS会議を広くPRすることができました。



(6) ホタルの観察会

とき：令和元年6月8日（土）

場所：少年自然の家

参加者：61名（H30 56名）

内容：少年自然の家で、中部大学発光生物学研究室 大場裕一教授より、ホタルについての講義をいただきました。種類や生態など一般的な解説のほか、江戸時代におけるホタルと人間社会の関わりについて、浮世絵を用いて説明するなど、一風変わった内容となりました。その後、野草園に移動して、発光生物学研究室内の学生などから説明を受けながら自由にホタルの観察を楽しみました。ゲンジボタルの他にも、ヘイケボタルやクロマドボタルの幼虫が観察でき、有意義な環境学習の場となりました。



(7) 庄内川アダプト（熊野グラウンド）

とき：令和元年7月6日（土）

場所：庄内川右岸河川敷（熊野グラウンド）

内容：当日は天候不良のうえ、川の水位が高かったため水生生物調査は中止し、運営委員のみで清掃活動を行いました。30分という短い時間での清掃活動でしたが、空き缶やペットボトルなど2袋分のゴミを回収しました。



(8) 中部大学「サマーフェスティバル」

とき：令和元年7月11日（木）

場所：中部大学（不言実行館前）

参加者：149名（H30 317名、H29 290名）

内容：当日はあいにく雨に見舞われましたが、34名の学生ボランティアが参加しました。かき氷の配布を通し冷房に頼らない涼み方を呼びかけ、省エネに繋げる活動を行いました。PS会議からは3名が参加し、学生と共に省エネ行動の実践を呼びかけました。



(9) 林間学校「竹あかりをつくろう」

とき：令和元年8月4日（日）

場所：潮見坂平和公園

参加者：62名

内容：新規事業として、林間学校を開催しました。PS会員である里山自然楽校の協力のもと「竹あかり」を作製しました。子どもたちは、慣れないながらもノコギリや小刀の作業を集中して行い、素敵な作品を完成させることができました。作製後は、完成した竹あかりを灯しながら森の中を散策しました。途中、カブトムシと遭遇するなど、自然観察を楽しみました。作製を通して、自然素材に親しんだり、竹の性質を学ぶ機会となりました。



(10) エコライフセミナー

とき：令和元年8月7日（水）

場所：文化フォーラム、市民広場

参加者：55名（H30 63名、H29 117名）

内容：環境にやさしいライフスタイルへの転換について、学び、考え、実践するきっかけづくりとして、エコライフセミナーを市と共催で開催しました。当日は、地球温暖化防止コミュニケーターによる講座で地球温暖化とは何か、その対策のためにできる「COOL CHOICE（賢い選択）」について学習した後、P S会議の会員が講師となり自然の素材である竹で水鉄砲とコップ作りを行いました。その後、「道風くん」と多治見市の「うながっぱ」とともに日本古来の涼み方である打ち水を行いました。



(11) 市民環境フォーラム

とき：令和元年8月31日（土）

場所：東部市民センター ホール

参加者：230名（H30 300名、H29 385名）

内容：幅広い市民の環境活動への取組みの推進や、環境に対する啓発を目的として、市と共催で開催しました。フォーラムでは環境対策の推進や地域において、環境保護活動をしている個人・団体の功績をたたえる「かすがい環境賞」の表彰や中部大学春日丘高等学校学生による地球温暖化防止への取組みについての研究発表がありました。基調講演では、動物写真家の前川貴行氏をお招きし、「動物写真家が語る 自然・命との対峙」と題し躍動感あふれる様々な写真とともに貴重な体験談をお話いただきました。自然環境の過酷さや動物たちの自然な姿を感じることができました。



(12) 答志島奈佐の浜海岸清掃

とき：令和元年10月13日（日）

場所：三重県鳥羽市 答志島

参加者：200名（H30 250名、H29 250名）

内容：「22世紀奈佐の浜プロジェクト」が平成24年に立ち上げられ、毎年清掃活動を実施しており、P S会議も参加しています。前日の台風19号の吹き返しによる北西風の中、総勢約200名（P S会議は5名）で大量の流木や、ペットボトル、発砲スチロールなど様々なごみを拾い続けました。また、四日市大学環境情報学部 千葉教授の提議による『海洋プラスチック問題』について議論が行われました。



(13) 春日井まつり「エコワールド」

とき：令和元年 10 月 19 日（土）～20 日（日）

場所：中央公園会場

参加者：18,097 名（H30 23,636 名、H29 中止）

内容：春日井まつりにおいて中央公園で工作や体験を通じて環境について楽しく学ぶ「エコワールド」を開催しました。市民団体、事業者、市の全 16 団体が参加し、P S 会議は間伐材を使用したバッジ作りを行いました。1 日目は、前日の雨で足元が悪く一部のブースが中止となってしま

いましたが、たくさんの方に参加いただきました。また、エコワールドの運営に、中部大学 NPO・ボランティアセンターの学生様など多くの方が携わっていただきました。



(14) 中部大学「お～い、温活」

とき：令和元年 12 月 11 日（水）

場所：中部大学

参加者 61 名（H29 182 名）

内容：夏の「サマーフェスティバル」に引き続き、中部大学ボランティア・NPO センターの主催する「お～い、温活」に参加しました。当日は 22 名の学生が参加し、学生や教職員など多くの人に温かい飲み物（はちみつレモン及び生姜スープ）を配布し、冷えた体を温めることで暖房器具の使用を抑制するなど、省エネ行動の意識の高揚を図りました。あわせて、冬の病気の予防について呼びかけました。



(15) 東邦ガス共催「親子で楽しくエコ・クッキング」

とき：令和 2 年 1 月 18 日（土）

場所：東邦ガスクッキングサロン春日井

参加者：27 名（H30 20 名、H29 21 名）

内容：事業者会員である東邦ガス春日井営業所様にご協力をいただき、環境のことを考えた「買い物・料理・片付け」を実践する『エコ・クッキング』を開催しました。講師の方から、教わったエコポイントを実践しながら、グループみんなで協力してエコ・クッキングに挑戦しました。慣れない手つきの参加者もいましたが、みんなで楽しそうに調理し、できあがった料理を笑顔いっぱい頬張る姿を見ることができました。



(16) 冬のエコツアー「鳳来寺山の自然を感じよう！」

とき：令和2年2月1日（土）

場所：鳳来寺山自然科学博物館（新城市）

参加者：40名（H30 48名、H29 40名）

内容：新城市にある「鳳来寺山自然科学博物館」に出掛けました。学芸員のガイドのもと、博物館と鳳来寺山を散策しました。館内は、地域の特性を生かした展示となっていて、岩石・植物・動物など多彩な分野について学習しました。鳳来寺山の登山では、館内での学習を踏まえ、地層や岩石、傘杉などを実際に目にすることができました。天候にも恵まれ、



自然と触れ合う場となりました。

3 学習広報活動等報告

(1) 学習研究グループ・広報グループ

ア 学習研究グループ

環境学習に関する情報を収集し、講演会等パートナーシップ会議の自主イベントなどの企画運営を行いました。

イ 広報グループ

パートナーシップ会議の活動を広く情報発信するための広報活動を行いました。

PS通信の発行（夏・秋・冬・春号の4回発行）

各種イベントにおける活動写真の撮影

フェイスブックページによる環境啓発イベントの周知と報告 (<https://www.facebook.com/かすがい環境まちづくりパートナーシップ会議-1201283229988707/>)

(2) 市環境基本計画「環境まちづくり参加人数」との関係

（単位：人）

	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
環境まちづくり参加人数	45,179	49,579	53,016	30,402	55,942
PS会議関連※ ¹	18,372	19,733	23,915	1,893※ ²	25,126

※¹PS会議関連・・・自主事業や共催事業の参加延べ人数

※²春日井まつり「エコワールド」が悪天候のため中止（例年20,000人程度が参加）

(3) 会員数の推移

	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市民会員（人）	35	40	50	35	36
市民団体会員（団体）	12	11	10	12	15
事業者会員（社）	3	3	4	6	7

※各年度末の数

4 市民団体活動報告

(1) かすがい里山自然楽校

活動名：かすがい里山憩いの森づくりプロジェクト

内容：潮見坂平和公園の希少種植物の生息地保全整備や自然体験、観察会などの環境学習のためのフィールド整備を行いました。また、なごや環境大学の認定教育講座や環境学習会を開催しました。



(2) 春日井里山保存会

活動名：自然環境保護・保全活動

内容：昔ながらの里山づくり、自然保護を目的にビオトープを設置し、水生生物等の保護・管理など自然環境の保全に必要な作業を行いました。また、自然環境学習に寄与しているビオトープの機能を損なわないようイノシシ侵入防止のための門扉を設置しビオトープの保全を図りました。



(3) かすがいシェアリングネイチャーの会

活動名：シェアリングネイチャー広め隊

内容：公益社団法人日本シェアリングネイチャー協会の基本理念に沿って、広く啓発、啓蒙活動を実施しました。企画事業を始め市内小学校での野外活動やイベントにおいて指導などを行いました。ネイチャーゲームを通じて自然を大切に、四季を感じ、生き物の多様性を学びました。



(4) 春日井自然友の会

活動名：自然環境保護・保全活動（イノシシ対策）

内容：自然を愛好し保護することを目的として、自然観察会・自然調査・野草園などの整備と管理を行っています。令和元年度は、イノシシによる野草園の被害を防ぐため、野草園南側及び西側に鉄製フェンスを設置し、維持管理及び自然保護を実施しました。



(5) かすがい東部丘陵自然観察会

活動名：アゲハチョウ飼育セットの市内小学校への無償提供活動

内容：生き物への関心と生物多様性の大切さなどを学んでもらえるきっかけづくりとして、アゲハチョウ飼育セットを市内小学校へ無償提供するため、食草（アゲハソウ）の生育管理、増殖を実施しました。



(6) 環境学習ネットワークグループ

活動名：地域小学校及び子供会の環境学習支援

内容：高座小学校や岩成台小学校4年生の校区自然探検を支援するとともに、高座小学校・岩成台小学校・篠原小学校5年生の野外学習をサポートしました。また、岩成台小学校において、竹を使った工作を行う環境出前講座を実施しました。



(7) 高蔵寺ニュータウン生き生き楽農会

活動名：地域と連携した自然環境保全清掃

内容：玉野の遊休地で安心安全な有機野菜づくりや自然環境保全のための清掃活動を行っています。令和元年度は、玉野町恒例の一斉清掃活動に合わせて、耕作地域の草刈り、清掃、溝さらえを行いました。また各畑の土手を中心に防草シート張り、環境整備を実施しました。



(8) たかくらこどもエコクラブ

活動名：環境教育

内容：高座小学校4年生～6年生を中心に、高座小学校内にて環境学習と自然遊び、エコ工作、庄内川の水質調査とガサガサ体験、少年自然の家でサマーキャンプと自然観察を行うなど様々な環境学習及び体験を行いました。



(9) 中部大学発光生物学研究室

活動名：潮見坂平和公園周辺地域のホタル概況調査

内容：潮見坂平和公園およびその周辺地域に生息しているホタル類、特にヘイケボタルの概況を把握するため、ホタル類の分布・生息環境の調査や遺伝子解析を行いました。



(10) 特定非営利活動法人かすがいネイチャー

活動名：高森山に棲むニホンリスの調査・保全活動

内容：高森山にすむニホンリスを調査・保全するため、毎月ニホンリスへの給餌活動や高森山のくるみ苗の植樹や周辺の下草刈りを行い、生態状況を把握し会議を開催しました。



(11) 特定非営利活動法人ザ・希望

活動名：障がい者・高齢者等によるさつまいもの栽培

内容：さつまいもの蔓を植え付けるため耕運機による畑の浄化やさつまいもの蔓の植え付けを下原町の玉雲寺の境内の畑にて実施しました。障がい者・高齢者による草刈り体験を経て、収穫の際は地域の子も達が参加し、芋ほりを通じて自然とふれあいました。



(12) 名古屋工業大学ソーラーカー部

活動名：光ですすめ！ミニソーラーカーレース！

内容：春日井まつり「エコワールド」において、ラジコンソーラーカーの体験やソーラーカーに使われる部品や材料などの展示を通じて、自然エネルギー利用の啓発活動を行いました。



(13) みろく山麓の自然を守る会

築水池北岸湿地の保全・観察、散策路の管理を行っています。

(14) 春日井スカウト団協議会

ボーイスカウト、ガールスカウトで構成され、青少年の健全育成を目標とし、野外活動を通して自然を学び友情協調の精神を育てる事を目的として活動しています。

(15) 春日井SDGs推進ネットワーク（旧 中部ESD拠点推進協議会）

国連が15年間（2016～2030年）で達成するために掲げた17の国際目標である『持続可能な開発目標（SDGs）』を推進することを目的に活動しています。

5 事業者団体紹介

(1) 大和エネルギー株式会社

東海4県唯一のリサイクル技術で、廃棄物から未来のエネルギーと資源をつくります。

(2) パナソニック エコシステムズ株式会社

空気・水の環境事業で暮らしを支え、快適で永く健やかに過ごせる社会の実現を目指しています。

(3) 王子製紙株式会社 春日井工場

「王子グループ環境憲章」の基本理念に基づき、すべての従業員が誇りと責任を持って、環境と調和した生産活動に取り組めます。

(4) 日本ガイシ株式会社 小牧事業所

「より良い社会環境に資する商品を提供し、新しい価値を創造する。」を企業理念に掲げ、社会の持続可能な発展に貢献していきます。

(5) 東邦ガス株式会社 春日井営業所

クリーンなエネルギーの供給を柱として、企業活動のあらゆる場面を通じて、環境調和型社会の実現に貢献します。

(6) 木野瀬印刷株式会社

環境に対する取り組みを促進し、従業員一人一人の意識を高めることによって環境への貢献を心懸けています。

(7) 株式会社TDS

電気工事業として、省エネ活動、エコ提案を通じて地域環境まちづくり推進に協力できる活動を実施します。

6 その他

(1) 第70回全国植樹祭

とき：令和元年6月2日（日）

場所：愛知県森林公園

内容：森林への愛情を培うことを目的に毎年行われている全国植樹祭に、PS会議を代表して二宮会長が参加しました。

(2) 東春信用金庫からの寄付金贈呈式

とき：令和元年6月6日（木）

場所：東春信用金庫 本部

内容：東春信用金庫から、本会議の環境保全活動に対し、「とうしゅんエコ応援積金」寄付金として11万円が贈呈されました。

